

岩内町立岩内第二中学校

二中だより

◆ 今年度の重点目標 協働し、自立する生徒の育成 ◆

☆ N S J ☆ 二中プライド

令和2年
11月30日
第9号

今こそ 正しく恐れよ

27日（金）、宿泊研修を終えた2年生（引率含め38名）が無事帰着しました。行事を終えて2台のバスから降りてくる生徒たちの笑顔を見て安堵しました。当初の予定を半年も遅らせ、感染拡大が広がる中での実施の判断はかつて無いほどの慎重なものとなりました。北海道での感染拡大が連日報道されていましたから、他府県の方からすれば北海道全域が要注意と映ったことだと思います。

たしかに札幌を中心とする石狩管内の感染状況は全国的にも比類の速度で拡がっていました。だからこそ知事も札幌市をステージ4相当に引き上げ、不要不急の外出制限と札幌市の往来自粛を呼びかけました。テレビや新聞等で公表される増え続ける数字を見ているとどうしても不安が先行します。広域の北海道にあって、では当管内はどうか、行き先の地域の状況はどうか等、関係機関からの情報も踏まえ総合的に判断しました。

先週の北海道新聞に「恐れすぎず、感染後の備えも」という記事が掲載されました。その中で、北海道臨床心理士会 前田潤会長が「コロナは災害のようなものと考えている。災害時のストレスをいかに緩和するかが心のケアになるとして、4つのポイントをあげてました。それが、

校長 篠 智樹



- ① 正しい知識
- ② 有効な対処法
- ③ しっかり受け止める力
- ④ 免疫力

ということです。今学校も含め国をあげて、感染予防に必死になっています。もちろん大切なことで緊急かつ重大なことです。ただ勢い「自分は感染しない」「感染したらみんなに迷惑をかける」という過度な思い込みは、感染者への差別や偏見を生みます。この先の2週間さえ見通せない現況であります、この状況を災害となぞらえるなら、自分が感染しない確率などかなり低いと言えましょう。

【正しく恐れよ】～これは、今年の2月にコロナウィルス感染予防対策を本校で打ち出したときの基本方針です。今できる限りの対策を取り、最大の防御を張るためにこれからも状況に応じた取組を行います。それが環境施設面からの安全・安心な学校づくりと考えます。別途お知らせしておりますように、生徒たちには手洗いの徹底を強化とともに、校内の消毒活動や来校者への応対も強化してまいります。今後とも皆様のご理解とご協力を願っています。



岩内町の花

3年生修学旅行



11月4日～6日の3日間で、3年生が修学旅行に出かけました。新型コロナウィルス感染拡大の影響で、予定していた東京方面への旅行を取りやめ、時期も5月から延期して実施しました。

バスでの換気や小まめな体温チェック、手指の消毒など感染対策を徹底しながらの旅行になりました。

【1日目】

雪の降る岩内を朝に出発し、新函館北斗駅へバスで向かいました。朝早い出発だったことや、バス酔いする生徒も数名おり、静かな車内。それでも、新幹線に乗るころには、旅行の実感も湧いてきたのか、明るい雰囲気を取り戻していました。

新幹線に乗って2時間弱で盛岡に到着。地元の観光協会の方の歓迎を受けながらバスに乗車。紅葉が始まっている猊鼻渓へ向かいます。2つのグループに分かれて船下りを体験。船頭さんの軽快なトークのおかげもあり、のんびりと景色を楽しむ

ことができました。船下りを終え、バスは宮城県の気仙沼市へ向けて出発。ホテル到着後は、地元の海の幸がたくさんある豪華な食事をいただき、レクで盛り上がりいました。

【2日目】

風がやや強く、寒さを感じながらも晴天に恵まれた1日でした。この日は最初に「東日本大震災



遺構伝承館」を訪問しました。津波に襲われた高等学校の校舎をそのままの形で残してあるこの施設で、語り部さんから当時の話を聞きながら、震災についての学習を深めることができました。津波のつめ跡や、当時の中学校の卒業式での答辞の言葉を真剣に見たり聞いたりして自分たちの生活を深く考える生徒の姿が見られました。

見学後は、バスで再び岩手県へ。途中の道路が混雑していたこともあり、中尊寺の見学は少し時間が短くなりましたが、1000年も前の建物や豪族たちの遺品を目にして、当時の歴史に思いをはせることができました。



そしてよいよ、みんなが待ちに待った自主研修。盛岡駅周辺の駅ビルでショッピングを楽しんだり、古い町並みを歩きながら現地のお菓子をいたしたりとそれぞれの班が思い思いに盛岡の街を堪能していました。集合時間に遅れる班もなく無事に研修を終え、2泊目のホテルへ。ここでも豪華な夕食をいただき、その後は売店でお土産を購入したり、部屋で仲間と語り合ったり、温泉をゆっくりと楽しむ生徒の姿が見られました。



【3日目】

最終日はホテルを出発して数分のところにある

「手づくり村」で制作体験。陶芸や皿の絵付け、郷土玩具づくりなど、それぞれの希望のものに挑



戦しました。昼食後は盛岡駅に戻り、新幹線で北海道へ。例年とは違う修学旅行になりましたが、それでも充実した3日間

を過ごすことができたようです。

まとめの学習も終わり、各班が作成した新聞をもとに報告会も行いました。どの班も新聞も工夫を凝らしており、昨年の宿泊研修の報告会以上の完成度でした。

旅行当日の送迎、修学旅行ブログをご覧いただいた方、報告会の際にご来校いただいた保護者の皆様、このような時期での旅行の開催になりましたが、ご協力いただきありがとうございました。

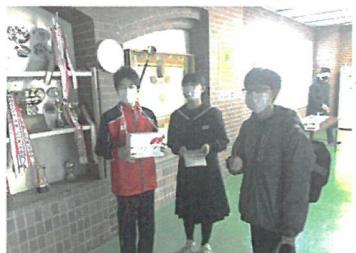


26・27日には2年生が宿泊研修（白老・登別方面）を行いました。旅行中の様子につきましては来月発行の二中だよりでお知らせいたします。

生徒会活動(募金活動)

10日(火)から、生徒会書記局のメンバーが中心となり、赤い羽根共同募金の活動を行っています。赤い羽根共同募金で集められたお金は、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。今回の募金活動では、24日現在で6000円ほどの金額が集まっています。当初の予定を延長して、12月4日(金)まで募金活動を行っています。



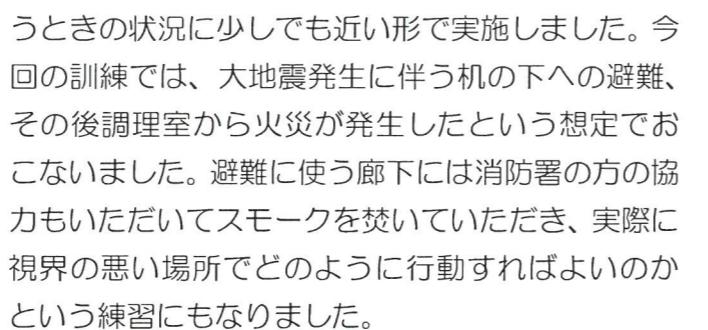


となり、赤い羽根共同募金の活動を行っています。赤い羽根共同募金で集められたお金は、子どもたち、高齢者、障がい者などを支援する

さまざまな福祉活動や、災害時支援に役立てられます。今回の募金活動では、24日現在で 6000 円ほどの金額が集まっています。当初の予定を延長して、12月4日(金)まで募金活動を行っています。

避難訓練

12日(木)の4時間目に避難訓練を実施しました。訓練当日は、実施時間を生徒には伝えず、いざとい



A photograph showing a group of students in dark uniforms standing in a hallway. Some students are looking towards the camera, while others are looking down or to the side. The hallway has wooden doors and a polished floor.

避難場所は、「密」の状態になるリスクを軽減するため、体育館フロアと2Fのギャラリーに分け、無事に終えることが

できました。講評いただいた消防署の方からは、「みんなが真剣に訓練に臨んでいた」こと、そして、「実際に地震や火災が起こった場合」の行動についてのお話がありました。訓練の後には各学級で、防災に関するビデオを視聴して、学習を深めることができました。

情報モラル教室

17日(火)の5時間目に2, 3年生、6時間目に1年生が情報モラル教室の授業を受けました。小樽の小学校から講師の先生をお招きし、普段取り組まれ



ているネットパトロールで、実際にあった事例などを中心に約1時間にわたくて授業をしていただきました。

「善意で拡散した情報が誤った情報だった場合、拡散した側も加害者になってしまうことがある」ということや、「たった1枚の写真にも数多くの個人情報が詰まっている」こと。「ゲーム依存になってしまった人からの相談」など、誰の身にも起こりうるお話をたくさんしていただきました。

スマホやPCを使う上で気をつけなければならぬことを今一度考えさせられる授業でした。

岩内町立岩内第二中学校 令和2年12月 行事予定

R. 2.11.30